益城町で「みんなで笑って元気になるばい！～お出かけ 肥後にわか～」開催

12 月 22 日、益城町の阿蘇 熊本空港ホテル エミナースで、熊本地震の復興支援イベント「みんなで笑って元気になるばい！～お出かけ 肥後にわか～」が行われました。

2016 年 12 月 22 日（阿蘇 熊本空港ホテル エミナース）

心と身体の元気

12 月 22 日、益城町の阿蘇 熊本空港ホテル エミナースで、熊本地震の復興支援イベント「みんなで笑って元気になるばい！～お出かけ 肥後にわか～」が行われました。同イベントは RKK 熊本放送が主催しました。熊本地震によって被害を受けた方々に「笑い」を提供し、日ごろの疲れを癒してもらおうと企画されたものです。趣旨に賛同したキリン株式会社が、被災者の心と身体の元気サポートの一環として協力しています。

午前 9 時からは、RKK ラジオ「とんでるワイド大田黒浩一のきょうも元気！」の公開生放送がエミナースの外の特設テントから行われました。また、同じく屋外には地元の特産品や加工品販売を行うテントのほか、移動販売車も並びました。その一つ、「CAFÉ&BAR MONKEY」では、キリンビバレッジの「生茶」「午後の紅茶」「FIRE」などの温かい飲料も販売されました。

お待ちかねの大田黒浩一さん率いる「劇団きゃあ」による肥後にわか公演には、近隣のテクノ仮設団地の住民をはじめ、多くの方々が詰め掛けました。公演に先立っては、熊本地震で甚大な被害を被った南阿蘇村で撮影された「午後の紅茶」の CM と、そのメーキング映像が流されました。

公演では、家族間のいざこざを肥後にわかならではの熊本弁を駆使した軽妙なやり取りを交えてユーモラスに展開しました。会場からは大田黒さんをはじめとする出演者の一挙手一投足に笑いが起こりました。同イベントは、今後も御船町、南阿蘇村などで順次開催される予定です。

コメント①

キリンビールマーケティング株式会社　熊本支社長（現　キリンビール株式会社 熊本支社長）麻生 芳彦

前回の西原村での公演を拝見し、肥後にわかの面白さと人気ぶりに驚きました。本日も多くの皆さまに「笑い」を通じて、地震でのご苦労をひと時でも忘れ、リフレッシュできる時間になればと思います。また、会場では南阿蘇村で撮影された「午後の紅茶」の CM も放映致します。雄大な阿蘇の自然と、のどかな風景を見た全国の方々が、少しでも熊本に関心を持っていただき、南阿蘇村を訪れていただければと思います。

コメント②

株式会社　熊本放送　営業局ラジオ営業部　部長　黒田 剛 様

ニュース報道を通して被災地を取材する中で、仮設団地ではどうしても高齢者が部屋に引きこもりがちだと知り、「何か外に出ていただくための取り組みは出来ないか？」と考えていました。そのさなかに劇団きゃあの公演を見て「これだ！」と思い、すぐに大田黒浩一さんの了承も得ました。また、このイベントの趣旨に賛同し、協力を申し出ていただいたキリン株式会社様にも、心から感謝申し上げます。肥後にわかや復興マルシェが、地震後離れ離れになっている地域の方々の再会の場になればと思います。

コメント③

タレント、劇団「きゃあ」主宰　大田黒 浩一 様

前回の西原村より、さらにお客さまとの距離が近かった上、（お客さまが）出演者をイジる場面も見られ、会場と舞台が一体となって盛り上がりました。今日は、震災直後に益城町を訪れた際にお会いした方々にも再会することが出来ましたが、皆さん元気になっていて安心しました。こうして被災地に肥後にわかを届けて、皆さんがお腹を抱えて笑っている姿を見ると、少しずつ気持ちが前を向いているんだなと感じられて嬉しいです。

コメント④

岡本商店（益城プリン）　矢野 好治 様

熊本地震で店が全壊し、跡地も道路拡張の予定地になったため、今後も元の場所での営業を再開出来る見込みはありません。そのため、テクノ仮設団地内の仮店舗で営業していますが、団地の住民の方々はもちろん、近隣の御船町や西原村からもわざわざ買いに来てくださる人もいて、新たな交流や触れ合いが生まれ元気づけられています。地震後、商品の「おやつプリン」を「益城プリン」と改名し、少しでも「益城は頑張っています！」というメッセージを発信できればと、移動販売で各地に出向いています。

コメント⑤

吉山商店（ミキのいきなり団子）　吉山 ひとみ 様

店が地震で全壊になっただけでなく、野菜を納入していた益城町の給食センターも被災し稼働しなくたったため、収入がなくなってしまいました。現在は、テクノ仮設団地内の仮店舗で営業しています。地震後に「いきなりぜんざい」という新商品を作ったので、それを皆さんに知っていただければと思い、復興マルシェに出店しました。また店を構えて営業できるかどうかという不安もありますが、それでも前を向いて頑張るしかないと思っています。

吉山 ひとみ 様（写真左）

コメント⑥

CAFÉ&BAR MONKEY　市村 修一 様

長年の夢だった自分の店のオープン予定が４月 15 日でした。その前後に地震が発生。店は解体され、「どうすればいいのか」と途方に暮れました。しかし、「自分にできることから始めよう」と益城町の復興市場屋台村で弁当販売をはじめ、その後、移動販売車を購入し、12 月から営業をスタートしました。今回の復興マルシェでは、キリングループ様から協賛いただき、大きな企業が、こうした地域のイベントにまで協力してくれることを有難く思います。

コメント⑦

肥後にわか来場者　農 文子 様、松本 ミカ子 様

地震直後に益城町にいらっしゃった大田黒さんとお会いした縁で、今日はラジオにも出演させてもらい、いい思い出になりました。肥後にわかの会場では、地震後に避難所で一緒だった方にも偶然再会することが出来ました。仮設住宅に移り離れ離れになって心配していましたが、元気な姿を見て安心しました。こうしたイベントは、震災後の苦労した時期を共に支え合った方々と再会するいい機会になり、とても感謝しています。